



第53回

海外研修 航海



研修期間 2024.2.21[水] > 3.24[日] 33日間(予定)
(事前研修を2024.2.18(日)~20(火)望星丸船内にて実施)

コース 日本(清水)▶日本(小笠原・父島)▶マーシャル諸島共和国(マジュロ)▶ミクロネシア連邦(ヤップ)▶日本(沖縄・宮古島)▶日本(清水)

応募締切 2023.10.20[金]まで | **募集人員** 研修学生112名 | **参加費用** 340,000円

※燃油代の動向によっては、燃油サーチャージを徴収することといたします。

お問い合わせは、海外研修航海事務局まで
主催/東海大学 事務局/スチューデントアチーブメントセンター E-mail : osec@tsc.u-tokai.ac.jp

※内容は情勢等により変更となる場合があります。変更の場合はTIPSにてお知らせします。

応募の詳細はこちらから!!

ウェブサイト

facebook

Instagram

第53回 海外研修航海

Message

輝く航海へ ようこそ

団長 八木 英一郎



コロナ禍による2年間の中断、そして昨年は国内を巡る研修航海として復活しましたが、今回いよいよ「海外」研修航海として本格的に復活します。振り返れば、第1回海外研修航海(1968年)から56年目、現在の望星丸(1993年就航、1994年から海外研修航海に使用)で実施するようになってから30年目の航海となります。海外研修航海は歴史と伝統を持った東海大学ならではのユニークな教育です。

旅の醍醐味の一つとして非日常の体験があります。今回めぐる太平洋の島々はどの島も豊かな自然と独自の文化を含んだ島々であり、中には普段なかなか訪れることのできない島もあります。観光ガイド風に紹介すると次のような感じでしょうか。「父島(小笠原):美しい自然と豊かな生態系が広がり、世界遺産にも登録されています。マジュロ(マーシャル諸島共和国):絶景のビーチやコーラルリーフが広がります。ヤップ(ミクロネシア連邦):美しい自然だけでなく、巨大な石貨に見られる独特の文化も魅力です。宮古島(沖縄):自然景観と独自の文化を楽しむことができます。」また、航海中は海しか

見えず、陸上では経験のできない日の出・日の入りの光景や、運がよければ船とイルカの併走なども見ることができるかもしれません。

しかし、海外研修航海の本質はこのような体験にとどまりません。航海中の学生同士の共同活動、様々なアクティビティ、これら全てが陸上で過ごしているだけでは味わえない経験をもたらします。私自身、2007年の第38回海外研修航海に教職員として参加しましたが、その時の様々な活動や経験(後から振り返るとトラブルでさえも)は、今ではかけがえのない体験や思い出として心に残っています。

海洋調査研修船「望星丸」には、豪華客船のような華やかさや快適さはありませんが、その独特な雰囲気と船上での経験は、これまで海外研修航海に参加した多くの学生たちを成長させ、また、彼ら彼女らの一生の思い出となりました。今回、海外研修航海に参加する方にとって、33日間の船上生活はあなたの人生におけるかけがえのない宝物となることでしょう。第53回海外研修航海への参加を心よりお待ちしております。

第53回海外研修航海 募集要項

研修目的

海外研修航海は、本学の建学の精神に則り、東海大学に在籍する学生から、広く研修学生を公募・選考し、本学所有の海洋調査研修船を使用して諸外国を訪問し、海外の諸文化・諸事情に触れ、国際的な視野に立った人生観・世界観を確立させると共に、船内という限られた生活環境の中で、教員・仲間との共同生活を通じて協調性を養い、より豊かな人間形成をはかることを目的とする。

第53回海外研修航海 募集要項・申込はこちらから
<http://tokai-ship.jp/>

